
へもの姫路旅日記

へも

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

へもの姫路旅日記

【Nコード】

N7533J

【作者名】

へも

【あらすじ】

福岡に住むのに何故か大阪からスタートするへもの旅日記です。

駄文(まえがき)

いやあ、どうも、へもです。本物のへもさん、いえーい、みてる
ー？

本物のへもさんから、書いてくれ書いてくれとうるさいもんだから、旅行記でも書いてやろうという気になったものなんですよ。いやはや。

で、へもさんは普段から穿いていらっしやるようで。あつ、何をかっているのは、禁則事項ですのあまり訊かないようにね。

へもさんは福岡に住んでおられるらしいですよ。ってなわけですね。私は大阪からスタートするわけですが。いやはや。

まあこんなものに時間を費やしてくれたらうれしいですよ、へもさん。

いざ、姫路へ（前書き）

いやあ、姫路っていいのはいいもんですよ。

中国やらインドやら韓国やらもいいですけど、私はあのエキゾチックな雰囲気が少々苦手だね。

まあ読んでくれたら幸いです。

いざ、姫路へ

私はその日、ニコニコ動画とかいうサイトを見てたわけですよ。で、その生放送とかいうたわけたシステムを利用して遊んでいたわけなんです。

そして、偶然へもさんに出会ったんです。へもさんとスカートを穿いたあのまた女装したあの部屋でアツーだの下らない話をしていたら、突然へもさんが言うんです。

「俺の友達、姫路に住んでる」

そんな話がどんどん展開していき、ついにリスナーの私が姫路へ勃つ……じゃない、発つことになりました。

そして、その日の翌々日。身支度を整え、私は玄関を出ました。私の家は、田舎とも都会ともつかない微妙な位置にあります。歩いて最寄り駅に向かうと。

その最寄り駅に居たんです、あの怪物が。そうです、へもさんです。私はガクブルしました。まさか最寄り駅を知られていたとは。

とにかく、談笑しながら電車を待つていました。オレンジ色103系クソオンボロ電車を快く迎え、乗り込みます。

中は熱気に包まれ、ラッシュ時でもないのに非常な混雑。いやあ、

この路線、侮れません。へもグロびんがワルグロびんになってしま
いますよ。私の股間もビンビーンですよ。

そして大阪駅に到着。もうこの時点でみなさんは私の最寄り駅の
見当はだいたいついていますね。そうです、私が住まう家の近辺に
ある駅は、福島駅か野田駅か西九条駅か弁天町駅か大正駅か芦原橋
駅か今宮駅か新今宮駅か天王寺駅か寺田町駅か桃谷駅か鶴橋駅か玉
造駅か森ノ宮駅か大阪城公園駅か京橋駅か桜ノ宮駅か天満駅なわけ
です。

大阪駅から、新快速晩秋麻生行きに乗ります。なんだか哀愁漂う
かわいそうな行き先ですね。私のパソコンがそう変換してしまった
ので仕方がないです。

新快速のシートは、いわゆるクロスシートです。特急電車みたい
な。だから、超絶ミニミニテーブルを出してひとまず食事です。

時間帯を言っていないませんでしたね。家を出た頃は朝の五時でした。
てなわけでおいしそうな幕の内弁当を朝食としてイタダキます。

しかし、当の私は動揺して箸が持てませんでした。そう、へもさ
んは私が穿く用のアレを持ってきていたのです。なんでも、私の汚
装を見たいようで。これじゃあ、この旅日記の趣向が変わってしま
うではないですか。なのでこの辺のアツい話は控えめでいきます。

てなわけで、ソーセージをパクリ。普段ならパッサパサで不味い
と思う（いや、決してそんなことはないのだけれども）真っ赤なソ
ーセージは、この浮かれた気分の中では大変美味に思えます。

そして、決してサクサクとはいえないが八丁味噌がおいしいとん

かつ。まさに、手八丁口八丁です。よいこのビールをグイッです。

更に、おいしそうな生ハムとカマンベールチーズとフランスパンとぶどう。へもさんの粋な計らいです。いやあ、よいこのワインが合う、合う。この世にこんなうまいものがあるのかと感嘆。

途中、某有名私立学校のある住吉駅で降車。東灘区観光です。いやあ、見事になんにもない。だが、この田舎ななんにもなさが好きだ。遙か上空を走る六甲ライナーを横目に、楽しく東灘を歩き回ったのでした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7533j/>

へもの姫路旅日記

2010年10月9日00時39分発行